

「非核平和富山県宣言」20周年 知事が、核兵器禁止条約に賛同し

11月
県議会
11/26~12/12

富山からも反核平和のうねりを

11月定例県議会の予算特別委員会で、ひづめ県議は①「非核平和富山県宣言」20周年 ②富山県地域医療構想 ③県総合博物館構想 ④教職員の多忙化と教育問題 について取り上げました。

ひづめ弘子県議が訴え



12/10 予算特別委員会

1999年12月
県議会が全会一致決議

この20年間で、核兵器廃絶めざす世界の運動は大きく前進。核軍縮交渉の担い手は核保有大国の手から、世界の多くの国々と市民社会の手に移り、一部の大国が世界を動かす時代は終わりました。2017年7月には人類史上初めて、核兵器を違法とする核兵器禁止条約が国連で採択されたのです。

核兵器禁止条約
34か国が批准(12/10現在)

核兵器禁止条約は、50か国が批准すれば発効します。この条約の実現を求める「ヒバクシャ国際署名」には、国内でも20府県知事と1,100を超える首長が署名しています。ひづめ県議は、石井知事にも賛同を求めました。

石井知事「ゴールは同じだが、アプローチが違う」

しかし、知事は「核兵器禁止条約が核兵器国と非核兵器国との対立を深めてし



11/10 非核平和富山県宣言 20周年を記念した反核シンポジウム(県内平和4団体が主催・高志会館)

ひづめ県議は、年1回の被爆2世健診の健診項目や、受診者数の拡充も要望しました。

被爆者協議会が取り組む
被爆者証言集への支援を

県内の被爆者は48人(3/31現在)。県被爆者協議会が被爆75周年の来年にむけ、26年ぶりの証言集発行に取り組んでいます。厚生部長も「意義深い取り組み」のように支援できるか検討している」と答えました。

「政府は両方の橋渡しに努める」というのが政府の方針で、「理解できる面もある」と答弁。ひづめ県議は「政府が核大国アメリカに追従しているかぎり、橋渡しはできない」と指摘しました。

日本共産党が提案
「公立病院等と地域医療を守ること
を求める意見書」

12/12 全会一致採択

県内5病院など、全国424病院の再編・統合の検討を求めた厚労省。意見書は「きわめて乱暴」と抗議し、国に安心・安全な医療を守る対策を求めています。

決算特別
委員会
11/26

平成30年度決算特別委員会で、総括質疑に立った津本県議。①県の子どもの医療費助成制度、②西部水道水供給事業、③教職員定数、④外国語指導助手(ALT)への財政支援、⑤県営住宅、などについて取り上げました。

子どもの医療費県の支援は3.1億円のみ

通院で3歳までに止まる富山県の制度。独自に18歳もしくは中卒まで無料化する県内市町村の経費は合わせておよそ37億円。



11/26 決算特別委員会で津本ふみお県議

津本県議は、県の制度の拡充を強く求めました。

外国語指導助手(ALT) 民間派遣の経費にも支援を

小中学校のALT。国際派遣事業によるALTには国の交付税措置がありますが、民間派遣型にはありません。県内市町村では75%が民間派遣です。しかし、県教育長は「市町村が判断して決めていること」と冷たい答弁でした。

県地域医療構想

2025年までに県内4,268床削減?

「目標」とせず、慎重な検討を

9月末、厚労省が名指しした424の公立・公的病院。県内では、県リハビリ病院、あさひ総合病院、厚生連滑川病院、かみいち病院、高岡ふしき病院的の5病院が含まれました。不安と怒りが広がっています。

社会保障予算の削減狙う
「地域医療構想」の推進

国が2014年に打ち出した地域医療構想。2025年の県内「必要病床数」を掲げることを求め、富山県には全国2番目に多い33.3%の病床削減が示されました。削減の加速が、今回の厚労省の狙いです。

県に強制・誘導の権限なし
住民とともに検討を

しかし、県地域医療構想は、病床数削減を「目標」とせず、「検討の基礎」としています。進め方についても「自主的に検討」「住民とともに」検討すると明記。構想をまとめる過程で、医療関係者や県議会での議論も反映した結果でした。ひづめ県議は、国の圧力があつても知事

がこの立場を貫くべきと主張。あわせて、医師の働き方改革と医師確保の努力、介護医療院の実態把握と対策も求めました。

安倍首相の「桜を見る会」の幕引き許さず、
政治を国民の手にとりもどそう。

総選挙でもがんばります。日本共産党



藤野 やすふみ
(北陸信越ブロック比例)



青山 りょうすけ
(富山1区)



坂本 ひろし
(富山3区)



日本共産党 2020年1月

ひづめ 弘子 版
県議会報告 No.65

〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12
電話(076)432-8383 FAX(076)442-1220
Eメール/hiroko.jcp@sand.ocn.ne.jp

●ご意見、ご要望を何でもお寄せ下さい。